

ふくしま
林業

労働力確保支援 センターだより

第23号

発行:福島県林業協会
〒960-8043
福島市中町5番18号
(福島県林業会館内)
TEL 024-521-3270
FAX 024-521-3246
ホームページアドレス
<http://www9.ocn.ne.jp/fukurin/>

平成24年2月発行



高性能林業機械実践研修会実施状況（スイングヤータ）

支援センターだより23号 目次

| | |
|---------------------------|---|
| 林業雇用改善セミナーを開催 | 2 |
| 林業雇用改善コンサルタントによる専門的な相談を実施 | 2 |
| 林業雇用改善推進会議を開催 | 3 |
| 林業就業支援講習の実施 | 3 |
| 〃 受講生の受講動機 | 4 |
| 「緑の雇用」現場技能者育成対策事業研修が終了 | 6 |
| 震災復興林業人材育成対策事業について | 6 |
| 放射性物質森林除染研修会を開催 | 7 |
| 最低賃金 | 7 |
| 平成24年林業事業体現場作業職員採用計画 | 8 |

林業雇用改善セミナーを開催

平成23年12月16日（金）に郡山市内のホテルバーデン会議室において、（1）全国森林組合連合会中央林業雇用改善アドバイザーの山口芳幸氏を講師として「林業労働をめぐる諸問題とその実態について」、（2）ふくしま中央森林組合の村松優子氏を講師として「女性オペレーターから見た林業」の演題でセミナーを開催しました。参加者は41名でした。

山口氏の講演では、雇用契約は対象事業体においては全て締結していることや、作業員の年齢構成の状況、新規就労者の就職動機等、多岐に渡るアンケート結果からの説明を受けました。

村松氏の講演では、森林組合に入ってから現在までに感じたことや、困ったことなどをお話し頂きました。



林業雇用改善コンサルタントによる専門的な相談を実施

林業事業体が抱えている人事・労務管理の専門的な悩みについて、現状を分析・診断し、改善方策等のアドバイスを行うために、今年度の林業雇用改善コンサルタントによる専門的な相談を、社会保険労務士の菅野隆氏に依頼し、受診者の募集により(有)スズキ木材・(有)中崎林業・会津若松地方森林組合の3事業体において、無料で実施しました。

菅野氏から懇切丁寧な指導を受け、特に会津若松地方森林組合においては、新たな就業規則の作成にまで結びつきました。



林業雇用改善推進会議を開催

福島県の森林林業の実情を踏まえ、林業の雇用管理改善を効果的に推進する事を目的として、平成23年度福島県林業雇用改善推進会議が平成24年2月6日（月）に福島市内の杉妻会館において開催されました。

推進会議では、国・県及び林業労働力確保支援センターが実施している林業雇用管理改善のための取組状況の説明や、各組織団体の現状と今後の対応のあり方を懇談致しました。



平成23年度福島県林業雇用改善推進会議委員

| 氏名 | 所属及び職名 | 備考 |
|-------|------------------|--------------------|
| 船木 秀晴 | 福島県森林組合連合会代表理事専務 | 学識経験者 |
| 鈴木 隆夫 | 奥久慈林業協同組合理事長 | 森林所有者・林業事業体を営む者の代表 |
| 吉田 徳義 | 福島県森林組合職員連絡協議会会長 | 林業労働者の代表 |
| 儀 武史 | 福島県林業振興課長 | 行政職員（出席代理） |
| 新林 裕 | 福島労働局職業対策課長 | 行政職員 |

林業就業支援講習の実施

平成23年度の林業就業支援講習を、平成24年1月10日～2月17日までの間、20日間にわたり実施いたしました。

この講習は、林業への就業を希望する者を対象に、森林・林業の基礎知識や各特別教育（「刈払機」・

「チェーンソー」・「林内作業車」・「小型車両系建設機械運転業務特別教育」、普通救命講習等の内容で、県内5名・県外8名計13名の方に修了証を交付しました。



刈払機安全衛生教育



普通救命講習

なお受講生に、森林・林業への思いや就業希望動機について作文を書いて頂きましたので、次ページに掲載します。

林業就業支援講習受講生の受講動機

林業就業にあたって

岩本 智 憲 (県外出身)

林業へ就業しようと思ったのは、実家の山を自分で管理し、木を育て、自分の家を建てるのが夢だからです。

この夢を持つようになったのが、今から三年前に、借家ではありましたが、ログハウスに住んでいたからです。

壁や床はもちろんですが、階段や各ドア、テーブルや椅子まで全てが木製、薪ストーブも設置してあり暖を取るのも調理するのも木でした。

ですが、よく調べてみると日本国内に建てられているログハウスの殆どがアメリカからの輸入材でした。輸入材の方が安く、質の良い木材を確保できるそうです。

国土の70%が森林である日本から本当に安く質の良い木材は採れないのでは

うか。

実家の山から木材を確保すれば、お金はかからないかもしれませんが、質の良いものが採れるかといわれると自信がありません。ということは、この国の森林から質の良い木材が殆ど採れない=国産材でのログハウスは増えないと考えました。

でも、もし自分で山の管理ができるようになったら、変わってくるのではないとも思ってきました。

そのために林業へ就業し、山の管理ができるようになり、安く質の良い木材を生み出す森林を増やし、国産材のログハウスも増やしていきたいです。そして、いつか私も実家の山から採った質の良い材料でログハウスを建ててみたいです。

森林・林業についての思い

五十嵐 大 博 (県内出身)

この林業就業支援を知って応募するまでは、資格が取れるということにしか興味がありませんでした。しかし、このテーマで作文を書くことになり、パソコンや雑誌を見て調べるようになり、とても興味をわきました。

まず、一番に興味を持った言葉が「再生可能資源生産である」ということです。ガソリンや石油のように、いつかなくなってしまう資源ではなく、いつまでも利用することができるという産業で、日本の3分の2が森林であるということに未来を感じました。

そして森林の整備は、水源涵養機能や表面浸食防止機能などの公益的機能を維持し、山や森林だけではなく、人間を守るためにもなっている大切な業務・産業であることが分かりました。

これから受講する内容は、約1ヵ月と短い期間ではありますが、学科、実技、ともに楽しく興味深く学んで今後の生活、そしてできれば自分の就職として生かせるようになればと思います。短い受講期間ではありますが、よろしく願いいたします。

なぜ職業として森林整備の仕事を希望するのか

大 岡 功 (県外出身)

私は、栃木県の宇都宮郊外で生まれ育ち、家では薪を風呂と炊飯の燃料として使ってきました。また2年前に故郷に戻り、薪ストーブのある家で新たな生活を始めました。薪を、親戚や知人より入手し、チェーンソーを使い始め、これまで当たり前と思っていた薪の炎が美しく感じるようになり、薪を切り出している森林に対する興味が湧いてきました。

これまで、漠然と日本文化は木の文化と思ってきましたが、鎮守の森の歴史や、樹木の物質循環を学び直して、改めて森林の大切さを認識しました。さらに森林

は、木材を供給するばかりでなく、水源を涵養し、水質を浄化し、また土砂の流出や落石、洪水等の自然災害から私たち人間を守ってくれていることも再発見した次第です。

今後、林業に従事することにより微力ではありますが、かけがえのない森林資源を維持して次の世代に引き継ぐことができれば、これまで恩恵を受けてきた自然に対し、僅かながらの恩返しができるのではと思っています。

なぜ職業として森林整備を希望するのか

富 塚 幹 雄 (県外出身)

林業とは何なのか、これまであまり考えたことはありません。漠然と、苗木を植えて育てて、伐って売るという程度の認識でした。数年前にテレビ番組で、木材価格の下落と放置林の増加、そして森林整備の必要性について観て、そうなのかとは思って身近に接したことはなかったため、特に問題意識を持つこともありませんでした。

今回、早期退職を決めたことでこれから何をやりたいのか考えたとき、体を動かして、やりがいや達成感の得られる仕事がしたいと思い、林業を一つの選択肢として考えるようになりました。これまで登山や山菜採りで親しみのあった山や、自然の中で仕事ができるという点にも憧れています。未経験で体力的にも年齢的にも難しさは感じていますが、林業就業支援講習の存在を知り、まずは林業の基

本を学びたいと思いました。

最近ではいろいろと調べた結果、林業が置かれている厳しい現状も解ってきました。3K、勤労者の減少・高齢化、低所得、補助金頼みなど悲観的なことばかりで、産業としての林業は、先行き不透明で正直不安になります。反面、日本国土の6割超ある森林を守る林業(森林整備)は、非常に重要で意義ある仕事であることは理解出来るので、新しい林業を構築すべきだとは思いますが、前向きに関わっていけたらという気持ちになっています。

講習によって、林業への理解が深まり、疑問点やこれからの可能性について確認したいと思っています。

森林の現状について思うこと

我孫子 薫 (県内出身)

テレビで、漁業関係者が森づくりに取り組んでいる姿を見たことがある。山と海を結ぶ河川が豊かな水を運び、豊かな漁場をつくる。そのために豊かな森林づくりを目指すということのようだ。

春先になると、その年の花粉は多い少ないといったニュースが毎年のように流れ、根本的な原因の一つとして放置された人工林(杉など)の映像が映し出される。花粉症のある人たちのにとってはたまらないことだ。

森林が私たちの生活に大いに関係しているのが分かる。

日本国土の7割近くが森林で、その中で放置された人工林が多いと聞く。国産材の需要が減っていることが大きな原因のようだ。建築材では、家を建てるにもその国その土地にあった木材を使用した方が望ましく、湿気が多い日本であれば日本の木材を使用した方が良いのだろうが、現実には価格の安い輸入材が多く使われている。

森林の現状については、いろいろな問題が指摘されているが、自らの生活の影響があるのであれば、森林整備に関わって仕事がしてみたい。

なぜ職業として森林整備の仕事を希望するのか

相 沢 恒 雄 (県内出身)

必ず巡ってくる冬、子供のころから私は周囲の多くの人々の生活様式に疑問を感じていました。

昭和40年生まれの私の小学校時分のいわゆるオイル・ショック、大人たちは子供に向かって「石油は限りある貴重品だから暖房はなるべく使わないようにしましょう」と言いました。私は子供心に「なんで暖房に石油なんか使わなければならないんだ？世の中には薪ストーブや石炭ストーブが有るではないか。石炭は石油同様限りあるけれども、薪は木を植えれば増やせるじゃないか！」と思い、生意気に周囲の大人たちに「なんできちんとした煙突のある薪ストーブを使わないで、いい加減な石油ストーブなんか使っているんだよ？」等と発言して、「子供が偉そうな口を利くな」と怒鳴られたうえに、制裁を受けました。お陰様でそれ以後、目上の人に対して無礼な態度をとることはありません。

しかしそれでも暖房の理想は木を燃やすことであり、電気や石油は妥協の産物

だと今でも思っています。数年前、薪ストーブ付きの家に引っ越した知人に関する噂話では「広葉樹の薪は高価だから、電気エアコン暖房しか使っていないらしい」とのこと。なぜ、安い建築廃材や針葉樹を使わないで電気を使うのか、全く理解できません。

更に、私の大嫌いな原子力発電推進派が口にする「薪ストーブは二酸化炭素を増やす」という大嘘。樹木は大きく育つまでの過程で大量の二酸化炭素を吸い込んでいますから、燃やしてもマイナスがゼロになるだけでプラスにはなりません。

いずれにせよ、恐ろしい地吹雪の山林で伐木作業を行っている先輩方しか、森林整備の本当の貴さ、難しさ、厳しさは骨に染み込んではいない筈です。口先で偉そうなことを言うやろと囁かれるので、一日でも早く自分の骨に難しさと厳しさを染み込ませたくて志願いたしました。

森林・林業に就業するにあたっての心構え

小平 雅人 (県外出身)

昨今、環境破壊や大気汚染問題など様々な地球環境問題や里山、森林に人の手が入らない地域などもあり、荒れてしまい問題となっている。森林の整備や林業は、私たちの生活に非常に密接で、大切な身近な問題で、未来に責任をもって引き継がなくてはならない。

さて、私が実際に森林・林業に就業するにあたっての心構えであるが、実際このような支援講習を受け、少しでも体験してみることが大切であると考えます。

私は、今まで製造職を長くしておりますが、森林・林業に就業するにあたっては、自然の中での厳しい仕事であり、今まで以上に細心の注意と万全の意識を持って取り組まなくてはならないと考えます。

日本の管理された美しい森林を次の世代に引き継いでいく為にも、森林・林業に高い意識をもって就業し、一日でも早く森林・林業の力になれるように努力したいと考えます。

森林と私

財 津 靖 (県外出身)

車や電車に乗り、風景に見とれていると、森林や里山を目で追っている自分に気づく。思い起こせば子供のころ住んでいた東京の町田市は、まだ農家が多く、昔ながらの里山が自分の遊び場であった。そう言ってしまうと、ものすごい田舎育ちを想像されてしまうと微妙に違うが、新宿から電車で40分位で、駅周辺にはデパートが5軒くらい建っており、買い物には都心に行かなくても不便ではなかった。

本題の里山だが、家から25メートル程のいつでも遊びに行ける場所で、季節に関係なく森に入り、クワガタ採り、沢蟹採り、蛇採りなどに明け暮れていた。特にクワガタ採りは熱心で、蜜が出ているクヌギを見つけては誰にも言わず、夜一人でこっそり採りに行ったものだ。しかし小学6年生ぐらいになると森は造成され無理やり公園に変わっており、「あの昆虫や沢蟹はどうしたのだろう」と心を痛

めた。

やがて中学、高等学校へ進み、社会人になると生活に追われ、気が付くと44歳になりやはり風景の中の森を見ると、杉の木だけの森をみるのが多く感じる。子供のころも杉林の森はあったが、そこには自分の好きな昆虫や蛇といった生き物が少ないと感じていた。聞けば戦後植林をしたが、近年は外国の木材が安いので、そのまま植えっぱなしで誰も伐採せず、杉林は荒れ放題になっているらしい。

日本の国土7割が森林と聞いたことがある。資源が少ないと思われている日本が、今後世界に誇れる森林資源を活用しない手はない。よくポスターでボルネオの森林を守ろうとか見かけるが、他人の家の庭を心配するよりも自分の家の心配をしてほしい、と感じる。それは森を壊して公園にするような愚行と思えてくる。

林業事業体に就業するにあたって

大和田 貴之 (県内出身)

私は、約10年東京の土木設計会社に勤務し、一日中パソコンと向き合う仕事をしました。そんな私の息抜きは、近隣の山へ登山に出かけ森の中を歩き、自然に触れる事でした。

しかし、あるとき体調を崩したことをきっかけに、故郷である福島県にUターン就職することを決意し、現在は造園会社での勤務に至っております。

林業の仕事をしたと選択した理由は3つあります。

①管理不十分な森林の増加、作業員の減少と高齢化が進行している事を知り、自然の中での仕事に意欲を持つ私にはチャンスであると確信したためです。

②日本の林業は、さらなる可能性を秘めていると素人の私は考えているからです。異業種間の交流を活発にし、新たな木材販売ルートを切り開くことにより安

定した収入の確保に繋がり、さらに高性能林業機械の導入により作業員の労働環境の改善を図り、高齢化にも対応した新しい形の林業に作りあげていくことが可能だと考えたからです。

③残念ながら福島県は原発事故が原因の風評被害に悩まされています。木材に関しても被害が出ていると聞いています。しかし、こんな時だからこそ、愛県心が非常に高まっています。地元で就職し貢献したいと考えています。

私が林業事業体に就職できたなら、現場作業員だけでなく木材加工業者であり、材木営業マンであると肝に銘じ、山から街への流れを理解し、一つ一つの仕事を安全且つ迅速に行えるよう日々精進していきたいと考えております。

なぜ職業として森林整備の仕事我希望するのか

加藤 克行 (県内出身)

私は去年と一昨年、福島県北森林組合で緊急雇用の臨時作業員として森林公園、林道等の除草、片付けの仕事をしました。そこで林業という仕事を知りました。組合担当者に林業でどんな仕事をしているのかを聞くことができました。

私は、電子機器製造業でずっと工場勤務でした。冷暖房完備の中での仕事しかしたことがなかったので、外での勤務が勤まるか不安でしたが、休むことなく働くことができました。

一昨年刈払機の特別講習を受け、去年は刈払機で除草の仕事をしました。木の伐採もやってみたくなり、チェーンソーの特別講習も受けてみたくなりました。就業支援講習があると聞き、今回受講を申し込みました。

臨時作業員として仕事をしましたが、充実感がありました。できればこの仕事についてみたいと感じています。

なぜ職業として森林整備の仕事我希望するのか

伊東 達也 (県外出身)

具体的な理由を、これから記述していきます。

一つ目の理由は、ある本で「まことの夢の実現は、物心ついたときに思ったことを実行できるか?」と書いており、幼少期は山で遊ぶのが楽しかったの、山で仕事をするのが自分の天職なのではないかと思ったからです。

二つ目は、将来自分で山と畑を持ったときに、管理するノウハウ(経験)を積むことが出来るし、生活するために必要な仕事だと思ったからです。

三つ目は、自分がハイキングや登山などを趣味にしており、山で体を動かして、

汗を流す仕事がしたかったからです。

四つ目は、前職での仕事が、人に対して懐疑的にならなければならないことに嫌気がさして、自然を相手に仕事をしたいと思ったからです。

これらの理由により、森林整備の仕事であれば、自分にとって本当に価値のあるものを見極め、そして感性や感情をぶつけられる有意義な人生を送れそうと思ったからです。

これからの林業に期待すること

赤木 進二 (県外出身)

国土の約4割を占めるという「里山里山」の保全活動に、林業従事者がイニシアチブをとりつつ、日本人全員が積極的に関わっていく未来を期待しています。

私は昨年の冬(震災の前でしたが)現在「鎌倉中央公園」として整備されている、雑木林や田畑からなる里山の保全活動に体験参加させていただきました。NPO法人「山崎・谷戸の会」という組織の方たちが、地主の皆さんと協力しながら毎週末活動されているのですが、私はエリア内の木の間伐と枝打ちを手伝いました。その作業は充実した一日でしたが、鉈の扱いは緊張しましたし「チェーンソーは使える?」と聞かれても、もちろん経験のないことで無理でした。ただ、それで終わるのではなく、木を扱う技術を習得できる機会はないものかと、それ以来頭の片隅で考え続けていました。

また作業終了後の打ち上げの席で、会の刊行物「かまくら・山崎 谷戸と暮らし」という、土地の古老の話(昭和30年代くらいまでの里山の様子)をまとめた小冊子を購読させていただいたので、読んでみました。随所に興味深い記述があり、

本の知識としてだけでなく、実際の作業はどんなものであろうかと無性に体験したくなったのです。

たとえば「更新されるべき木が伸び放題になると、山の景色が一変してしまっただけで」「手入れが行き届いていたところはササが全然なかった」「戦前、用材としてアカマツは沢山あったけど、昭和30年代にマツクイムシの繁殖でだいたいやられた」「(薪用の)クヌギの木は冬伐るんだよ」「正月から3月までが薪山の仕事で、のこぎり、鉈、鎌の三丁だけ下げて作業したけど、ある時チェーンソーを使ったら、半日で一年分の薪ができた」とか、都会でサラリーマン暮らしをしていた素人だからかもしれないですが、本当に興味深い記述ばかりでした。

私個人の断片的な経験がまだ線になってつながっていないのですが、「森林管理」という大きなテーマで、人間や動物が暮らす日本の自然保全にかかわっていく道はないものかと模索中です。

なぜ職業として森林整備の仕事我希望するのか

丸山 徹 (県外出身)

この職業を選んだ理由はいくつかあります。

まず林業という仕事をしてみたいと思ったからです。東京でサラリーマンをしていましたが、自分に合っていないと思い辞めました。もともと林業の仕事に興味がありましたが、どういう世界なのかまったく理解していなかったので、平成22年の11月に秋葉原で行っていた「森の仕事ガイダンス」に参加してみました。現場の方々のお話を聞き、林業の現状を学びました。そこで改めて興味がわき、この仕事をしてみたいと感じました。

次に、手に職をつけたいと思ったからです。手に職を付けることで将来に向けての安心を得たいと考えています。年金の支給年齢の引き上げ等、先行きに不安のある情勢の中、長く働ける林業に魅力を感じています。

最後に、林業が衰退し、山を起こす人がいなくなったせいで、山が荒廃している現状をニュース等で観ました。その現状を憂い、少しでもその防止の役に立てればと思い、この職業を選択しました。

以上のことから、私はこの林業の仕事を希望します。

「緑の雇用」現場技能者育成対策事業研修が終了

フォレストワーカー（FW）研修は、林業技術者として必要な知識・技術の習得のための就業1～3年目の就業者を対象に、集合研修（FW 1 30日・FW 2 25日・FW 3 20日）と事業体における実地（OJT）研修（1年目 上限8ヶ月 2年目及び3年目 上限6か月）をFW 1 32事業体 44名・FW 2 30事業体 56名・FW 3 25事業体 35名で実施しそれぞれ1月に研修が終了しました。



3年目 森林作業道（丸太組工法）



2年目 メンテナンス（チェーンソーのメンテナンス）



1年目 普通救命講習（ケガの応急手当）



指導員能力向上研修の実施状況

また、トライアル雇用及びフォレストワーカー研修の実地研修の指導員となる者を対象に、指導能力向上を目的とした「指導員能力向上研修」を4日間実施しました。

なお、FW 3研修修了者はフォレストワーカー（林業作業士）として、平成24年度に農林水産大臣に登録申請を予定しております。

震災復興林業人材育成対策事業について

東日本大震災被害者の円滑な就業を支援するため、岩手、宮城、福島県の3県において、新たに雇用した林業事業体による新規就業者が安全かつ効率的な作業を行う知識・技術等を習得するためのOJT研修を、トライアル雇用事業として県内15事業体25

名の研修生が12月から平成24年2月まで実施しました。

なお、新年度より、「緑の雇用」現場技能者育成対策事業と二本立てで実施されることになっております。

放射性物質森林除染研修会を開催

県内の林業就業者を対象に、森林における除染作業を適切かつ安全に行うため、森林除染に関する専門知識と技能習得を目的とした研修会を、12月に南相馬市といわき市の2会場で開催しました。合わせ

て約120名が参加し、午前の室内研修のあと、午後からは森林内において除染の作業実習を行いました。



室内研修の様子



作業実習の様子

「必ずチェック最低賃金!使用者も労働者も」

福島県の最低賃金が平成23年11月2日から変わりました。

一時間 **658円**

パート、アルバイト等を含めすべての労働者に最低賃金以上の賃金が支払われなければなりません。

このほか、福島県では次の産業別最低賃金が決められています。

電子部品・デバイス・電子回路、電気機械器具、情報通信機械器具製造業最低賃金

計量器・測定器・分析機器・試験器・測量器械器具・理化学機械器具、時計・同部品、眼鏡製造業最低賃金

輸送用機械器具製造業最低賃金

非鉄金属製製造業最低賃金

自動車小売業最低賃金

詳しいことは、福島労働局賃金室 **TEL 024-536-4604**
又は最寄りの労働基準監督署にお問い合わせください。

平成24年林業事業体現場作業職員採用計画

県内の認定事業体に平成24年の採用計画をお聞きしました。その内容については当支援センターへお問い合わせください。

福島県林業労働力確保支援センター
TEL 024-521-3270
担当者 金沢、小松

(平成24年2月現在)

| 林業事業体名 | 所在市町村 | 採用人数 | 雇用形態 | 職 種 | | | | 採用地域 |
|-------------------|-------------|------|-------|-----|----|------|--------|---------|
| | | | | 造林 | 保育 | 素材生産 | オペレーター | |
| 吾妻造林(有) | 福島市 | 1 | 常用 | ● | | | | 通勤範囲 |
| (有)武田林産 | 二本松市 | 2 | 常用 | ● | ● | ● | | 通勤範囲 |
| 安田林業(株) | 大玉村 | 2 | 常用 | | | ● | | 通勤範囲 |
| (有)熱海グリーン産業 | 郡山市 | 2 | 常用 | | ● | | | 通勤範囲 |
| (有)水野林興 | 古殿町 | 2 | 常用 | | ● | | | 通勤範囲 |
| 郡山市森林組合 | 郡山市 | 2 | 常用 | | ● | ● | | 通勤範囲 |
| ふくしま中央森林組合 | 小野町 | 3 | 常用 | ● | ● | ● | | 通勤範囲 |
| (有)関根農林 | 平田村 | 2 | 常用 | | | ● | | 通勤範囲 |
| 田村森林組合 | 田村市 | 7 | 常用 | | ● | ● | ● | 地域を問わない |
| (有)東白林業 | 棚倉町 | 2 | 常用 | ● | ● | ● | ● | 通勤範囲 |
| (有)スズキ木材 | 棚倉町 | 1 | 常用 | ● | ● | ● | ● | 通勤範囲 |
| (有)田部林業 | 矢祭町 | 2 | 常用 | ● | ● | ● | ● | 通勤範囲 |
| (有)本郷林業 | 鮫川村 | 2 | 常用 | ● | | ● | | 地域を問わない |
| (有)諸橋林業 | 鮫川村 | 3 | 臨時 | ● | | | | 通勤範囲 |
| (株)池田林業 | 塙町 | 1 | 常用 | | | ● | | 通勤範囲 |
| (有)陣野林業 | 棚倉町 | 1 | 常用 | | | | ● | 通勤範囲 |
| 真名畑林業(有) | 塙町 | 2 | 常用 | | | ● | ● | 通勤範囲 |
| (株)ミツヤマグリーンプロジェクト | 白河市 | 6 | 常用 | | | ● | ● | 通勤範囲 |
| (有)ウッド福生 | 塙町 | 2 | 常用 | | | ● | | 通勤範囲 |
| 栗城林業(株) | 会津美里町 | 1 | 常用 | | | ● | | 通勤範囲 |
| (有)六和林業 | 猪苗代町 | 2 | 常用・臨時 | | | ● | ● | 県内 |
| (株)ノーリン | 喜多方市 | 2 | 常用 | | | ● | | 通勤範囲 |
| (有)斉藤造林 | 喜多方市 | 2 | 常用 | ● | ● | ● | | 通勤範囲 |
| 舘岩村森林組合 | 南会津町 | 2 | 常用・臨時 | | ● | | ● | 地域を問わない |
| 山屋林業(株)石川事業所 | 南会津町(石川町) | 1 | 常用 | | | ● | ● | 通勤範囲 |
| 千葉製材所 | 南相馬市 | 1 | 常用 | | | ● | | 通勤範囲 |
| (有)浪江愛林 | 浪江町(避難先大玉村) | 1 | 臨時 | ● | ● | ● | ● | 県内 |
| 吉田林業(株) | 葛尾村(避難先郡山市) | 1 | 常用 | | | ● | | 通勤範囲 |
| (有)志賀林業 | 川内村 | 2 | 常用 | | | ● | ● | 通勤範囲 |
| (有)国見グリーンパワーズ | 南相馬市 | 2 | 常用・臨時 | ● | | | | 県内 |
| 松山林業(有) | 相馬市 | 1 | 常用 | ● | ● | ● | ● | 通勤範囲 |
| 常磐林業(株) | いわき市 | 1 | 常用 | ● | ● | ● | ● | 地域を問わない |
| 磐城造林(株) | いわき市 | 1 | 常用 | | | ● | | 通勤範囲 |
| (有)平子商店 | いわき市 | 3 | 常用 | ● | | | | 通勤範囲 |
| いわき愛林(株) | いわき市 | 1 | 常用 | ● | ● | ● | | 通勤範囲 |
| (有)丸信林業 | いわき市 | 1 | 常用 | ● | ● | ● | | 県内 |
| (有)井出林業 | いわき市 | 2 | 常用 | ● | ● | ● | | 通勤範囲 |
| (有)豊田林業 | いわき市 | 1 | 常用 | | ● | | | 通勤範囲 |
| (有)近野林業 | いわき市 | 1 | 常用 | ● | | | | 地域を問わない |
| 國生興産(有) | いわき市 | 1 | 常用 | ● | | | | 通勤範囲 |
| (有)松本林業 | いわき市 | 1 | 常用 | ● | ● | ● | ● | 通勤範囲 |